




# ALESIS

# CORE **1**

ユーザガイド

# 安全にお使いいただくために

## この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

### 製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。  
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[ WEB ] <http://alesis.jp/>

**ALESIS** <お問い合わせ>

**inMusic Japan カスタマ・サポート部**

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

## ユーザガイド

### はじめに

### 同梱品

- ・ Core 1 本体
- ・ Mini USB ケーブル
- ・ Software Download Card
- ・ User Guide (英文)
- ・ Safety & Warranty Manual (英文)

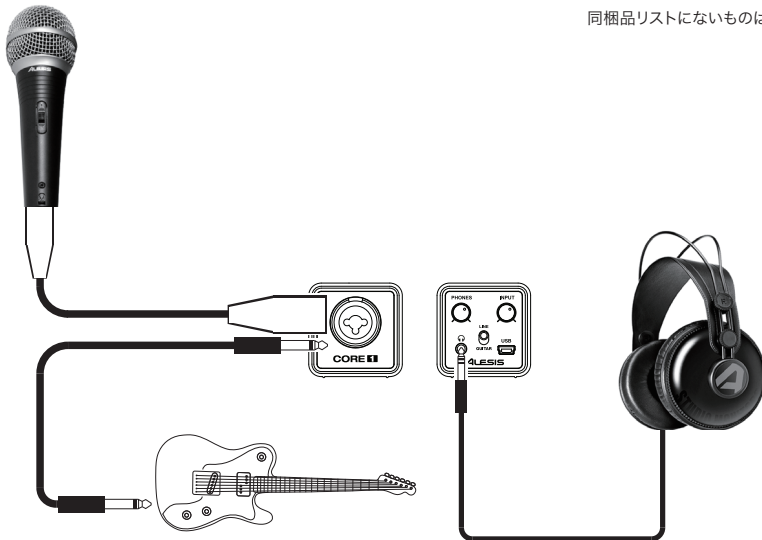
### サポート

製品の最新情報（システム要件、互換性など）、および操作方法や修理などにつきましては、Alesis のホームページをご覧ください (<http://alesis.jp/>)。

### クイックスタート

### 接続例

同梱品リストにないものは別売です。



マイク (XLR または 1/4" TRS ケーブル)  
または  
ギター (1/4" TS ケーブル)

ヘッドフォン (1/8" TRS ケーブル)

## オーディオセットアップ

Core 1 は、特別なドライバをインストールすることなくコンピュータと USB ケーブルで接続するだけで認識されます。その上で、Core 1 を通じて音声の入出力がされるように、以下の通り、OS のコントロールパネルなどで設定する必要があります。

また、オーディオ録音編集ソフトウェアなどで Core 1 をお使いいただく場合は、お使いのソフトウェアの設定画面などで、Core 1 をオーディオ入出力デバイスとして設定してください。詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

**重要：**Core 1 は、ソフトウェアによっては 2 チャンネルの入出力デバイスとして表示されますが、入力チャンネルに関しましては、単なる表示上のもので、どちらを選択しても構いません。出力チャンネルは、一般のステレオ (L/R) になっています。

### Windows 8 :

1. Core 1 を USB ケーブルでコンピュータと接続します。
2. デスクトップ左隅を右クリックし、表示されるメニュー内の**コントロールパネル**をクリックして、**サウンド**を開きます。
3. **再生**タブ内で **Core 1** を既定のデバイスとして選択します。
4. 次に、**録音**タブに移動し、ここでも **Core 1** を既定のデバイスとして選択します。
5. 右下の**プロパティ**をクリックします。
6. 現れたウインドウ内で、**詳細**タブに移動し、既定の形式欄で **2 チャンネル、24 ビット、48000Hz (スタジオの音質)** を選択します。
7. **排他モード**内の 2 箇所のチェックを外します。
8. **OK** を押し、プロパティを閉じます。
9. **OK** を押し、サウンドコントロールパネルを閉じます。

### Windows 7 :

1. Core 1 を USB ケーブルでコンピュータと接続します。
2. **スタートメニュー**から**コントロールパネル**を開き、**サウンド**を開きます。
3. **再生**タブ内で **Core 1** を既定のデバイスとして選択します。
4. 次に、**録音**タブに移動し、ここでも **Core 1** を既定のデバイスとして選択します。
5. 右下の**プロパティ**をクリックします。
6. 現れたウインドウ内で、**詳細**タブに移動し、既定の形式欄で **2 チャンネル、24 ビット、48000Hz (スタジオの音質)** を選択します。
7. **排他モード**内の 2 箇所のチェックを外します。
8. **OK** を押し、プロパティを閉じます。
9. **OK** を押し、サウンドコントロールパネルを閉じます。

### Mac OS X :

1. Core 1 を USB ケーブルでコンピュータと接続します。
2. **アプリケーション > ユーティリティ > Audio MIDI 設定**を開きます。
3. **オーディオ装置**画面を開き、左側のコラムで **Core 1** を選択します。
4. 選択した **Core 1** を右クリックし、**このサウンド入力装置を使用**を選びます。
5. 選択した **Core 1** を右クリックし、**このサウンド出力装置を使用**を選びます。
6. Audio MIDI 設定を終了します。

## レイテンシー(Windowsの場合)

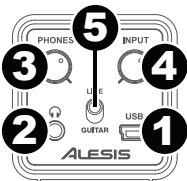
「レイテンシー」とは、パソコン内で音声が発生されてから、実際に音声が届くまでの遅延のことを言います。レイテンシーの値が大きいと、遅延時間が長くなります。

一般に、レイテンシーはソフトウェアの動作に支障が出ない程度に、できる限り低く設定します。レイテンシーとバッファ・サイズはソフトウェアの初期設定で調整することができます。

ソフト・シンセやソフト・インストゥルメントを使用して、レイテンシーやタイム・ラグが大きいと感じるようでしたら、インターネットで広く一般的に使われている ASIO (Audio Stream Input/Output) ドライバをダウンロードして使用しましょう。一般的に ASIO ドライバはレイテンシーが小さく、オーディオ・デバイスとソフトウェアを効率的に通信します。[www.asio4all.com](http://www.asio4all.com) でフリーの ASIO4ALL ドライバ (PC) をダウンロードして使用するのもよいでしょう。

## 機能

### フロントパネル



1. **Mini USB 端子**：付属の Mini USB ケーブルを使用して、コンピュータと Core 1 を接続します。
2. **ヘッドフォン端子**：1/8" (ステレオミニプラグ) でヘッドフォンを接続します。
3. **PHONES (ヘッドフォンボリューム)**：このノブで、ヘッドフォンの音量を調整します。
4. **INPUT (インプット・ゲイン)**：このノブで、音声入力のレベルを調整します。録音ソフトウェアのレベルメータなどを確認しながら、クリップして歪まない程度に音量を調整します。
5. **LINE/GUITAR 切り替え**：マイクやラインレベルの音声信号を入力する場合は、このスイッチを LINE に設定します。ギターやベースなどハイ・インピーダンスの音声信号を直接接続する際には、このスイッチを GUITAR に設定します。

### リアパネル



1. **入力端子**：マイクやラインレベルの音声信号ソース (XLR または 1/4" TRS ケーブル)、あるいはギターやベース (1/4" TS ケーブル) などを接続します。

## 付録

## 仕様

サンプルレート :	32~48kHz
ビットデプス :	24bit
入力端子 :	XLR + 1/4" TRS コンボ端子
出力端子 :	1/8" TRS ヘッドフォン端子
電源 :	USB バスパワー
サイズ :	約 4.4 x 4.4 x 8.9cm (W x H x D)
重量 :	約 0.14kg

## 商標及びライセンス

Alesis は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

その他すべての製品名あるいは会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

**alesis.jp**